



堀井東京キワニスクラブ会長の抱負

2011年10月ー2012年9月の会長として、私がモットーとしたいのは、「キワニスクラブライフを楽しもう」です。

キワニスクラブの活動を会員全員が楽しむ。楽しみ方は十人十色です。

- 素晴らしい経験や知見をもつ会員との会話や交流を楽しむ
- 世界や日本の子どもたちを支援する募金活動などチャリティ活動に参加することで社会になにか貢献することを楽しむ
- キワニスドールづくりで、病気の子どもたちの笑顔を感じて楽しむ
- 例会や国際懇話会でキワニスのネットワークを駆使した多彩で素晴らしい講師による講演を楽しむ
- 学生や社会人が行っている草の根の活動を世の中に紹介することを楽しむ
- 音楽会、美術鑑賞、観劇などの芸術・文化の催しに参加することを楽しむ
- キワニス会員のなかで同好の士を発見し、趣味を深めることを楽しむ
- キワニスクラブを通じて知り合う日本国内他クラブの会員、海外の会員との交流を楽しむ

- これらすべてを通して、キワニスクラブの会員であることを楽しむ



このほか、皆様がキワニス会員として感じている「楽しみ」はなんでしょうか？たくさんの楽しみ方を教えてくださいませ。

会長として、今年も皆様がこれらの「楽しさ」をフルに感じていただけるよう役員会の皆様とご一緒に努力してまいります。

今年度は、さらに皆様に「キワニスを紹介し、新しい仲間を作る楽しみ」をよろしくお願いたします。皆様のお友達で、「定年後、なにか世の中の役にたつことをしたい」という方も多いと思います。また、若い方たちでも「同世代の異業種交流では得られない、人生の先輩と出会いたい」という方も少なくないと思います。

是非、今年は、皆様とご一緒により多くの方々に「キワニス会員の楽しさ」を伝えていきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

(堀井紀壬子会長)

ELIMINATE

Kiwanis eliminating maternal/neonatal tetanus



エリミネイト・プロジェクト正式にスタート、推進体制も整う

昨年7月のジュネーブでの第96回キワニス国際大会に於いて、世界から母子破傷風(MNT Maternal & Neonatal Tetanus)を撲滅するために平成27年迄に1億1千万ドルの募金活動をユニセフと協力して行うというエリミネイト・プロジェクトを正式にスタートさせました。このキャンペーンは、6,100万人のお母

さんと赤ちゃんを助けることを目指します。

国際キワニスでは、エリミネイトを推進する特別の推進組織を設置し、テキサス出身のベテランであるRandy Delay氏を推進委員長として、その下に3人の副会長、地域コーディネーター、地区コーディネーター、ディビジョンコーディネーター、クラブコーディネーター

を任命し、通常の執行体制とエリミネイト推進チームが協力して、プロジェクトの推進を行うこととなりました。これに伴い、東京クラブの横山太蔵会員が地域コーディネーター（日本、韓国、フィリピン南部、フィリピン・ルソン担当）、北里光司郎会員が日本地区コーディネーターに任命され、日本地区の8人のディビジョン・コーディネーターの一人に堀井紀壬子副ガバナー兼東京クラブ会長が、東京クラブ・コーディネーターに松本一紀会員が任命されました。

平成27年までの目標金額は、1億1千万ドルですが、

23万2千人の会員で割って、1会員平均474ドル（約3万8千円）の寄付が必要だと算出しています。東京クラブとしては、10万5千ドル（約840万円）がまずクリアする目標です。また表彰制度でモデルクラブという基準があり、会員1人平均寄付額750ドル（約6万円）を4年間で達成することを目指します。これを達成するには、東京クラブでは、16万6千500ドル（約1,300万円）を目指す必要があります。この目標に皆で挑戦していただきたいと思います。

（北里光司郎会員）

キワニスドール を作る会



[看護専門学校]

広尾看護専門学校 昨年10月15日
板橋看護専門学校 昨年10月15日
荏原看護専門学校 昨年11月19日

各看護専門学校では昨年秋の学校祭におきまして、会場を設営してキワニスドールを作る会を開催していただきました。東京キワニスクラブからもそれぞれに多くの会員が参加いたしました。各会場ともたくさんの参加者で熱気溢れる盛況でした。

広尾看護専門学校では昨年キワニスドールサークルを発足させておられるなど積極的な取り組みをいただいておりますが、今後もこれらの看護専門学校において毎年こうした催しを開催していただけることを期待しております。

[中学高等学校]

東京家政学園 昨年11月21日、11月24日
大妻中野中学高等学校
昨年12月19日、本年1月13日
田園調布学園 本年1月21日

各校ではキワニスドール作りを授業の一環として取り入れ毎年定期的実施していただいております。各校とも2時間程度であります担当の先生が中心となり熱心な取り組みを進めておられます。東京キワニスクラブからは当日有志の方々が作成のお手伝いに参加しております。

特に田園調布学園では昨年秋の学園祭でキワニスドールの展示や東京キワニスクラブの紹介をしていただ



▲ 荏原看護専門学校



▲ 荏原看護専門学校

くなど意欲的な取り組みをされております。

[東京キワニスクラブ会員によるドール作り]

昨年11月18日、本年1月20日

当クラブ会員の皆様にキワニスドール作りにさらに多く参加していただくために、例会終了後1時間程度ドールの綿詰め、綿分けを行う会を開催いたしました。

今後も奇数月の第三金曜日例会終了後に計画しておりますので会員の皆様の積極的な参加を期待しております。
（高坂和夫ボランティア委員長）

オレンジリボンたすきリレーに参加して 2011. 10. 30

昨年10月30日(日)、恒例の「オレンジリボンたすきリレー」が開催されました。

私は、小学5年生の孫娘をつれて初めて東京タワーでのピラ配りに参加させていただきました。既に到着していた東京キワニス会員の方々とともに東京タワー見物の観光客にピラとマスクのセットを手渡すのですが、うかつにもピラ配りがあんなに難しいこととは思っていませんでした。「児童虐待防止のキャンペーンです」といって手渡そうとするのですが、まず胡散臭そうによけられてしまいます。何か怪しげな勧誘くらいに思われたのでしょう。先輩からは「ピラを相手の胸元に突き出すとよけられない」と経験豊かなアドバイスを頂いたのですが、女性ならともかくおじさんではどんな反応を示されるか分からない不安もあります。その点、子どもだと警戒心を抱かれにくいようです。かくして生まれてはじめてのピラ配りは孫娘に軍配が上がりました。

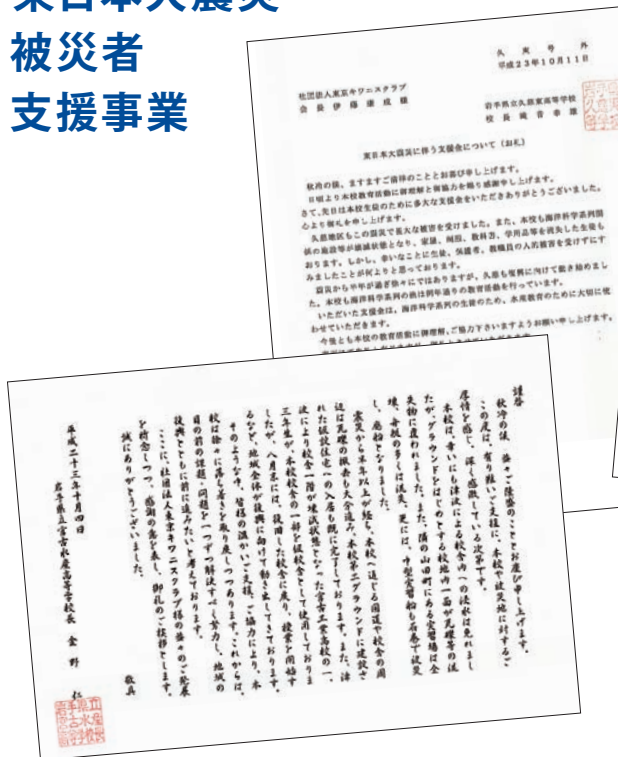
そうこうするうちに前の区間を走ってきたリレー走者の一団が到着、そこからは木下功子会員とその仲間がしっかりとたすきを引き継ぎ颯爽と走り去っていかれました。その後ろ姿に声援を送りながら、一同、ますます深刻化する児童虐待、その根絶への願いを新たにしました次第です。

なお、帰路、自宅近くの駅で広告のティッシュペーパーを差し出され、思わず「ご苦労さん」と言って孫娘と顔を見合わせたのでした。

(中村禎良Kファミリー委員長)



東日本大震災 被災者 支援事業



東京キワニスクラブでは、東日本大震災によって甚大な被害をこうむった水産業の復興を応援し、将来の日本の水産業のリーダーとなる有為な人材の育成を支援するため、被災した水産高校7校の支援を行うこと

にいたしました。具体的には、青森県立八戸水産高等学校、岩手県立宮古水産高等学校、岩手県立久慈東高等学校、岩手県立高田高等学校、宮城県立気仙向洋高等学校、宮城県水産高等学校（石巻）、福島県立いわき海星高等学校の7校に、被災生徒数や、水産教育の規模に応じて、昨年から3年間、支援金を送ることに、昨年9月に開催された東京キワニスクラブ定時総会で決定し、同月、第一回の送金を完了いたしました。それぞれの学校からは、震災で失われた教材や水

産実習のための備品購入等に活用したいという感謝のお手紙を頂戴しておりますことをご報告いたします。

今年は、支援金送付だけではなく、実際に水産高校訪問などの交流も行いたいと思っております。また、仙台クラブとも連携して、この地域の子どもや若者に応援を続けたいと思います。

今後とも、皆様の継続したご支援をよろしく願いたします。
(堀井紀壬子会長)

「慰霊の泉」歳末清掃会活動報告 2011.12.6

昨年12月6日(火)に恒例の「慰霊の泉」歳末清掃会が行われました。参加者は、総勢21名でした。当日の作業は午後2時開始の予定でしたが、火曜会終了後そのまま銀座から靖国神社に移動された方も多く、早目の作業開始となりました。

当日の天気は、いつ時雨れるかと心配するほどの曇り空で、気温は上がり、多くの方はコートを着たまま作業を行いました。作業は、皆様ご承知の通り、「慰霊の泉」を中心に一帯の銀杏の落ち葉を掃き集め、神社境内の塀際の植え込み部分に運ぶわけですが、場所によっては木の周りにびっしりと落ち葉が敷き詰めたようになっていてかなりの量になります。皆さん、思い思いの場所に陣取って作業に取りかかり、ちり取りやリアカーを使って繰り返し落ち葉を運ぶうちに、掃き清められた部分が徐々に広がって一帯は綺麗になっていきました。

泉の中も、水中と水面にかなりの落ち葉があり、3人程のメンバーが竹箒を使って根気よく掬い上げました。



作業は、思いのほか順調に進み、午後3時にはおおむね終了。高坂ボランティア委員長から作業終了のご挨拶をいただいた後、散会いたしました。

(矢代隆義会員)

東京キワニスクラブ定時総会 2011.11.18

昨年11月18日、平成23年9月期事業報告書と収支決算書を審議する定時総会が法曹会館高砂の間で開催されました。まず、堀井会長が議長に選出され、議案審議に先立ち、定款の規定による必要定足数について藤井事務局長から会員76名の出席と議決権行使書63通の委任状提出により総会が有効に成立している旨の報告と議事録署名人として指名を受けた木全会員・竹嶋会員の承諾の旨の宣言がなされました。

次に役員会から付議された第1号議案、「平成23年9月期事業報告と収支決算」の一括審議に入り、藤井事務局長から事業報告、酒井財務委員長から収支決算報告、野末監事から監査報告が行われ、審議、質問を経て、採決の結果、満場一致で承認されました。

引き続き、伊藤理事(前会長)より、一般社団法人

移行に伴う公益目的支出計画の内容説明があり、今後さらに公益事業計画の精度を高めていくと共に、キワニ日本財団への寄付金問題との整合性をとって、平成24年の認可、移行を実現していく旨の報告が行われた。

当事業年度は、期中に東日本大震災が発生し、当初の事業計画を実施していく中で、被災地の復旧・復興支援の活動に重点注力いたしました。会員各位からの義捐金・メルシー基金拠出による水産高校生支援等々は高い評価をいただき、社会奉仕団体としてステイタス確立に大きく貢献できた事業年度でありました。次の事業年度においても東京クラブの更なる発展と「子ども最優先」の社会奉仕活動の一層の充実を期待したいものです。
(藤井和雄事務局長)

平成 24 年新年互礼会 2012. 1. 6

本年1月6日(金)午後5時30分から、新年互礼会が銀座7丁目のサッポロライオンクラシックホールで開催されました。

当日は、例年にも増して厳しい冷え込みにもかかわらず、会員、パートナー89名の方々が参加されました。

堀井会長の新年のご挨拶及び力強い決意表明のあと、辰年生れ(年男)の皆さんによる鏡開き、引き続き年男を代表して日下部 健さんのご発声で乾杯して懇談となりました。

暫くの歓談の後、リージョン オブ オナー(国際キワニスからキワニス在籍25年以上の方々が5年ごとに表彰される)の表彰伝達が行われ、当日参加された鶴田日夫さん(35年)、小島章伸さん(30年)、寄木正敏さん(25年)に、堀井会長から賞状と特製ピンが授与されました。(当日欠席の山下幸雄さん(40年)、青山偉和雄(25年)も表彰されています。)続いて恒例になった福引では、笑いと拍手で大いに盛り上がり大変賑やかで和やかな新春の歓談となりました。



中締めは緒方副会長。震災被災地の1日も早い復興と、今年が明るい昇龍の年であることを祈念して、三・三・七拍子で散会となりました。

(近石康宏事業企画委員長)

千代田クラブのチャリティコンサートに参加して 2011. 10. 22

一昨年9月に誕生した千代田キワニスクラブでは奉仕活動の一環として「東日本大震災被災地支援・チャリティコンサート」を昨年10月22日(土)広尾のオマーン大使館で開催した。東京クラブにも呼びかけがあったので会員4人と家族等数人が参加された。

小池日本地区元ガバナー、橋本元総理夫人など千代田クラブのメンバーや一般の支援者等で会場のホールは一杯に埋められるという盛況となった本企画の収益金は約40万円に達し、全額が特定非営利活動法人インフォメーションセンター3・11世界を変えるプロジェクトに寄付されたとのことである。



演目は、新進のハープ奏者 高野麗音さんのソロ演奏及びフルート奏者 梶川真歩さん(いずれも東京芸術大学音楽学部出身)とのデュオで、国内外の各種コンクールで優秀な成績を収められているお二人が演ずるリストやラヴェル等の有名な作品の演奏に会場は完全に魅せられていた。舞台のすぐ前の席を頂いたこともあり、音楽に関する造詣がさしてない私でもハープを弾く手足の動きを間近に拝見しながら素晴らしいメロディに聴き入ることが出来、実に得難い経験であった。

因みに、今回の会場はオマーン大使館の屋敷内にあり、大使もご家族と共に出席されていたが、休憩時間にサービスされた同国のお菓子とお茶を頂きながら時代の変遷を懐かしく感じていた。それは、およそ40年前IMFへ出向中に首都マスカットへ出張した際、日本の大使館はそこにはなく、一方東京にも同国の大使館は未だ存在しなかったことである。昭和47年の国交樹立、その後のオイルショック等を経て、現在広尾の一等地に建つ立派な同国大使館の協賛を得て今回上記の様な行事が行われたことに今昔の感を抱くとともに、主催クラブの会長さん他関係者に深く敬意を表明したいと感じた次第である。

(秋山誠一副会長)

昨年10月から本年1月までの活動

2011年10月	1	静嘉堂文庫美術館朝鮮陶磁名品展
	4	火曜会
	7	第2105回例会(講師:成澤俊輔氏)
	7	新旧役員懇親会(電気倶楽部)
	9	第15回落語鑑賞会
	10	秋季ゴルフ大会(箱根湖畔GC)
	11	火曜会
	13	第37回日本酒を楽しむ会
	15	広尾看護専門学校学校祭クワニスドールをつくる会
	15	板橋看護専門学校学校祭クワニスドールをつくる会
	18	火曜会
	21	第2106回例会(講師:岡本毅氏)
	21	第51回囲碁愛好会
	25	火曜会
2011年11月	27	宝塚観劇会雪組公演
	30	児童虐待防止オレンジリボンたすきリレー
	1	火曜会
	3	ピアノトリオのコンサート(JTアートホールアフィニス)
	4	第2107回例会(講師:加藤隆俊氏)
	8	火曜会
	10	第38回日本酒を楽しむ会
	15	火曜会
	18	第2108回例会(講師:荒船旦子氏、定時総会)
	18	クワニスドールをつくる会(例会場)
	18	第52回囲碁愛好会
	19	荏原看護専門学校学校祭クワニスドールをつくる会
	21	第54回国際懇話会(講師:猪口孝氏)
	21	東京家政学院中学校・高等学校クワニスドールをつくる会
22	火曜会	
24	東京家政学院中学校・高等学校クワニスドールをつくる会	
29	火曜会	

2011年12月	1	宝塚観劇会宙組公演
	2	第2109回例会(講師:金野仁氏)
	3	山種美術館創立45周年記念特別展
	4	第31回文楽を楽しむ会(鑑賞教室)
	6	火曜会
	6	「慰霊の泉」年末清掃会
	8	第39回日本酒を楽しむ会
	11	第31回文楽を楽しむ会(文楽公演)
	13	火曜会
	16	第2110回例会(講師:徳川恒孝会員、皆勤会員表彰式)
	17	囲碁大会&忘年会(第53回)
2012年1月	19	大妻中野中学高等学校クワニスドールをつくる会
	20	火曜会
	29	第九を聴く会(サントリーホール)
	6	第2111回例会(新年互礼会)
	7	新春大歌舞伎(新橋演舞場)
	10	火曜会
	13	大妻中野中学高等学校クワニスドールをつくる会
	17	火曜会
	20	第2112回例会(講師:石原結實氏)
	20	クワニスドールをつくる会(例会場)
	20	第54回囲碁愛好会
21	田園調布学園クワニスドールをつくる会	
22	大相撲初場所観戦会	
24	火曜会	
31	火曜会	

今後の予定

2012 年 2 月	2	宝塚観劇会星組公演
	3	第 2113 回例会(講師：原田淳氏)
	5	第 31 回文楽を楽しむ会
	7	火曜会
	9	第 40 回日本酒を楽しむ会
	11	チェロとピアノのコンサート(浜離宮朝日ホール)
	12	第 31 回文楽を楽しむ会
	14	火曜会
	16	第 10 回ワインを楽しむ会
	17	第 2114 回例会(講師：滝田栄氏)
	17	第 55 回囲碁愛好会
	19	第 31 回文楽を楽しむ会
	19	第 16 回落語鑑賞会
	20	第 55 回国際懇話会(講師：立川敬二氏)
	21	火曜会
	27	新入会員オリエンテーション
	28	火曜会
3 月	2	第 2115 回例会(講師：河野憲壯氏)
	3	静嘉堂文庫美術館講演会「新刀の変遷 国広から貞一まで」
	6	火曜会
	8	第 41 回日本酒を楽しむ会
	13	火曜会
	14	東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 公開リハーサル見学
	15	ASPAC コロンボ大会(-17)
	15	宝塚観劇会花組公演
	16	第 2116 回例会(講師：西館好子氏)
	16	キワニスドールをつくる会(例会場)
	27	火曜会
30	第 2117 回例会(講師：北代淳二氏)	

4 月	3	靖国神社「慰霊の泉」献納記念昇殿参拝
	3	火曜会
	6	第 2118 回例会(講師：堀口直子氏)
	10	火曜会
	11	春季ゴルフ大会(武蔵 CC)
	12	第 42 回日本酒を楽しむ会
	17	火曜会
	19	宝塚観劇会 月組公演
	20	第 2119 回例会(講師：松田正人氏)
	20	第 56 回囲碁愛好会
24	火曜会	
5 月	8	火曜会
	11	第 43 回日本酒を楽しむ会
	15	火曜会
	17	宝塚観劇会雪組公演
	18	第 2120 回例会(講師：尾身幸次氏)
	18	第 57 回囲碁愛好会
	22	火曜会
	25	第 2121 回例会(ファミリーデー) 銀行倶楽部
29	火曜会	

キワニスドールの使い方

キワニスドール（キワニスクラブで製作した人形）は、病院で若い患者さんに、これからどんな治療をしていくのか説明するときなどにも使われます。傷口の縫合や、酸素マスクを使用しなければならないような場合、お子さんは驚き緊張して怯えてしましますが、キワニスドールを使って説明されると、これから受ける治療の内容がよく判って、怖さや不安が軽減されるそうです。

子ども達はキワニスドールに注射をしたり、時にはお医者さん・看護師さんに教えて貰いながら手術の真似をしたりして、キワニスドール相手の「ごっこ」遊びをしています。人形を身代わりにこれから受ける

治療を体験させると、子ども達の恐怖が和らぎ、治療を受け入れやすくなるそうです。

キワニスドールが真っ白でノッペラボウなのは、子ども達が好きな色を塗り、顔や洋服を描いて遊ぶことができるように、という工夫をしているからです。大人でも病院は厭な所です。病気の子ども達にとってはなお更です。治療は苦痛を伴いますし、見知らぬ環境におかれて子ども達は怯えています。

キワニスドールは、痛くて怖い外来での治療や入院生活を少しでも楽しくできたという、特別な玩具なのです。

キワニスドールの報道とPR活動

日本地区で初めて、東京キワニスクラブでスタートしたキワニスドールは、2003年にNHKラジオで全国放送され、また雑誌では、日本フィランソロピー協会の機関誌や、2004年には診断と治療社の「チャイルドヘルス」12月号、2006年3月に医療関係専門誌「メディカル朝日」2006年3月号にも掲載されました。

2005年3月20日、「キワニスドール」が読売新聞で紹介され、全国の読者から大きな反響がありました。また、2005年8月27日、キワニスドールが1時間の番組として、BS朝日から全国に放映されました。この放映番組を基に20分間にダイジェストしたPR版を制作し、また、2006年から2008年まで日本小

児科学会や日本小児保健学会でキワニスドールを紹介し、キワニスドールの普及活動に力を入れています。2009年4月4日にはキワニスドールシンポジウムを東芝本社39F会議室にて250名の参加を得て開催、ドールをつくる喜び、看護師、医師、看護教育の立場からドールの使い方の報告があり、現場の生の声を聞く機会を得ました。このときの様子を約16分のダイジェスト版DVDにして、希望の方に差し上げています。キワニスドールの活動は東京キワニスクラブのホームページでも紹介しています。第2回は、2010年4月、第3回は2011年5月14日伊藤忠商事10F会議室で開催、約200名が参加しました。

<http://www.japankiwanis.or.jp/tokyo>

キワニスクラブとは

キワニスクラブは、“世界の子どもたちのために”を合言葉に奉仕活動を行う民間の世界的な団体です。1990年からは、特に幼い子どもたちのための奉仕活動に力を入れています。名称のキワニスは、デトロイト周辺に住んでいたアメリカ原住民の言葉“Num-Kee-Wan-is”（みんな一緒に集まる）に由来します。

キワニスクラブは、1915年1月21日米国デトロイト市で生まれました。当初はアメリカとカナダで発展していましたが、1963年にはヨーロッパ3都市に広がり、現在世界の約90ヶ国、8,000のクラブ、約60万人の会員が国際キワニスを構成し、その本部は米国インディアナポリスにあります。

日本では、東京キワニスクラブが1964年1月24日、アジア太平洋地域で最初のクラブとして設立されました。次いで名古屋、大阪、広島、神戸、仙台、

札幌、横浜、高松、福岡、京都、千葉、和歌山、新潟、泉州、埼玉、西宮、渋谷、福山、熊本、静岡、金沢、松江、鹿児島、芦屋、福島、大分、千代田の順に生まれ、現在28のクラブで会員は約1,600名で活動しています。東京キワニスクラブは、1967年2月27日社会奉仕団体として初めて、厚生大臣より社団法人の認可を受けました。

キワニスドールは、メルボルンのナナワディング・キワニスクラブで、1988年に初めて作られました。メルボルンからオーストラリア全域で広がり、さらに1994年に北欧にも伝播しました。日本地区では2001年11月から取り組み始めました。現在では全世界のキワニスクラブでドールを制作して病院などに寄贈するという活動を行っております。

社団法人 東京キワニスクラブ 会長 堀井 紀壬子 〒101-0047 千代田区内神田2-3-2 米山ビル

Tel: 03-5256-4567 Fax: 03-5256-0080 e-mail: tokyokiwanis@japankiwanis.or.jp URL: <http://www.japankiwanis.or.jp/tokyo>